

年間授業計画

東京都立芝商業高等学校令和5年度 教科(国語) 科目(古典B) 年間授業計画

教科: 国語 科目: 古典B 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年(A組~F組)

教科担当者:

使用教科書: (大修館書店「精選古典B 改訂版」)

使用教材: 第一学習社「カラー版新国語便覧」「カラー版新国語便覧 準拠ノート」
「古典文法ワークノート」、いづな書店「みるみる覚える古文単語300+敬語30」

	指導内容	古典Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	古文編Ⅰ 物語(一)『伊勢物語』 ・文学史 ・「初冠」「関守」	<ul style="list-style-type: none"> 『伊勢物語』についての文学的知識を身に付け、他作品との類似性・相違点を踏まえながら、文学的な流れの中で歌物語を捉える。 多くの古典作品を読むことで、歴史上の人物についての多角的な視点を得ることができることを理解する。 和歌が各章段の中心となっている文章表現の特色を理解する。 史実と虚構の巧妙な調和の上に成り立っていることを理解する。 	提出物 中間考査 授業への取組み (関心・意欲・態度)	5
5月	・古文編Ⅱ 大和物語「をばすて」	<ul style="list-style-type: none"> 古文を口語訳する方法を身に付ける。 作品の中で人物が生き生きと描かれていることを知る。 古典文学に親しみ、自分の関心のある内容を見つける。 		5
6月	古文編Ⅰ 随想(二)『枕草子』 「木の花は」「中納言参りたまひて」	<ul style="list-style-type: none"> 随想の作者である清少納言がどういふものごとに価値を見出していたか、影響を受けていたのかについて考える。 機軸の利く作者が自身のエピソードを事細かに綴っている様子を読み取ることによって本文の特色を探る。 	提出物 期末考査 授業への取組み (関心・意欲・態度)	10
7月	漢文編Ⅱ 長恨歌と日本の文学『長恨歌』	<ul style="list-style-type: none"> 『枕草子』の中で清少納言のものの見方が長恨歌をはじめとする唐の漢詩に大きく影響を受けていることを確かめる。 		
8月	夏季休業期間		提出物 課題への取組み (関心・意欲・態度)	
9月	古文編Ⅰ 物語(二)源氏物語 ・文学史 ・桐壺巻「桐壺の更衣」	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』の文学史的な意味を知る。 世界中で翻訳されるその魅力を探る。 既習の『伊勢物語』『初冠』の「垣間見」と読み比べ相違点を整理することで「垣間見」の意義を考える。 	提出物 中間考査 授業への取組み (関心・意欲・態度)	12
10月	・若紫巻「垣間見」			
11月	古文編Ⅱ 物語(二)源氏物語 ・葵巻「物の怪の出現」	<ul style="list-style-type: none"> 「物の怪の出現」に至るまでの物語の流れを理解する。 古文を口語訳し、登場人物のおかれている状況や心情を読み取る。 	提出物 期末考査 授業への取組み (関心・意欲・態度)	16
12月		<ul style="list-style-type: none"> 長編物語を構成する主人公とこれをめぐる諸人物たちの人間関係の諸相を理解する。 		
1月	漢文編Ⅰ 2史伝—『史記』本紀(司馬遷) ・鴻門の会	<ul style="list-style-type: none"> 司馬遷に関する知識を身に着ける。 『史記』の歴史書としての特質を理解し、中国の歴史について基礎的な知識を修得する。 	提出物 学年末考査 授業への取組み (関心・意欲・態度)	8
2月		<ul style="list-style-type: none"> 『史記』を読み、長い文章の漢文に慣れ、訓読上の決まりをより正しく理解する。 		
3月		<ul style="list-style-type: none"> 治乱興亡の世に処する人々の姿に触れ、古代の人々のものの見方・考え方を知る。 		